



伝統の継続

校長 米田敏男

本定時制課程は、昭和四年開校の長い歴史を有し、これまで卒業生は平成十三年三月卒業生を含め約五二〇〇名を数え、卒業生の方々が広く各方面で活躍されていることは、既に皆様ご承知のこととであります。

さて、新しい世紀、二十一世紀最初の年も早後半になりました。この新しい世紀がどのようなものか、二十一世紀を

迎える一年前の今ごろマスコミは、「不透明から混沌へ」といっていました。要するにだれも確たる予想はできない、ということであつたかと思ひます。

私は、このような時代にこそ、学校教育の果たす役割は大きいと考えております。我が、都立三田高校定時制課程は、健康で知性が高く情操豊かで、積極的・誠実な人間

を育成する、という教育目標を掲げております。このような本校の教育目標を通して、基礎・基本の徹底を図り、社会に有為な心豊かで逞しい人材を育て、本校の伝統を継続して行きたい、と考えております。現在進められている教育改革の重要な柱として、本校定時制課程は、平成十七年度開校予定の「港地区チャレンジスクール」として生



構造改革と同窓会

教頭 天野秀人

閉塞感漂う日本を救うのは構造改革だと言われている。構造改革を一言で言えば、税金・郵便貯金等で賄われている組織や人を出来る限り減らし、このようにする政策である。その及ぶ所は、行政ばかりでなく、企業活動にも波及するに違いない。

この時代は、本当に自分の力で、生き生きと運よく生きようとする人々

にとつては、むしろやりがいのある楽しいものになる。そうはいっても、競争が激しくなるわけだから、従来のように職場での和気あいあいとしたほんわかムードは薄れてゆく。脱落者もまた多くなる。

そんなとき、対落共同体のような、仲間なら誰でも受け入れてくれるような存在が、我々の精神的な安らぎを確保する上

で大変重要である。この大都會でも、そういった組織は厳としてある。それが、同窓会の構成員は、同じ学校で学んだという一生消えることの無い事実で繋がっている。

また、同窓会の理事会は村の寄合に似ている。私が、かつて関係した都立豊多摩高校同窓会では、集合時刻は決まっています。夕飯を食べながら、集まったところを見

計らって、会議を始めていた。二年五ヶ月程しか、青葉会と接していないが、本会の暖かさは身に染みて感じている。これから、この絆を大切にしたいと今願っている。

新入会員紹介

おめでとうございます 平成13年3月卒業

- 一組 浅野 充
- 石塚 聖士
- 井上 倫和
- 岡田 直
- 押田 淳平
- 今 亮平
- 田中 晶
- 北原 遼
- 尾崎 亜希
- 小野寺 夏子
- 矢嶋 男子

受賞者

平成十二年度
「北原奨励賞」受賞者
小野寺 夏子

母校の近況

平成十二年度卒業式
三月二日
卒業生
十一名(男八・女三)

職員移動

平成十三年度入学式
四月九日
新入生 五名

◇二退職
小山 黎子(嘱託)

◇一転出
高井 純子(栄養士)

訃報

広瀬 隆信 先生
H13・7・23逝去
横田 ミホ 先生
H13・8・7逝去

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

青葉会 役員 2001年度

- 役職 氏名 卒業年度
- 名譽会長 (学校長) 米田 敏男
 - 名譽副会長 (教頭) 天野 秀人
 - 顧問 石関力太郎
 - 中村 十成
 - 杉山 邦衛
 - 若林 明弘
 - 品川 一博
 - 中村 幸子 19
 - 若月 義男 38
 - 中村 信夫 45
 - 山口 英男 38
 - 小林 利江 39
 - 江澤 照美 39
 - 須藤裕三郎 41
 - 富川 孝恭 34
 - 石田 弘 29
 - 五百川 武 41
 - 吉川 貞雄 30
 - 鳴戸 錦子 28
 - 嶋田 孝雄 41
 - 竹内 務 29
 - 神崎 敬子 29
 - 津山 三郎 38
 - 八木 敏行 41
 - 宮田 立治 41
 - 河野 節子 41
 - 皆川 茂 42
 - 柳沼 健一 42
 - 有坂 律子 49
 - 平田 福正 50